

みなさんは最近、星空をじっくり眺めたことがありますか。

天体観測に大事な3つのポイントは「良く晴れること」「大気が安定していること」そして「空が暗いこと」。これらを兼ね備えた浅口市は、観測適地として1960年に天文台が建設されて以来、天文台のあるまちとして知られてきました。

…時が経つにつれて、まちは大きくなり、家も工場も増え、そして空はすっかり明るくなりました…でも、本当はまだまだ美しい星空がちゃんと残っています！今夜は灯りを消して、まあるいお月様の下、高嶼に耳を傾けてみませんか。※星月夜（ほしづくよ）とは、星明りだけで月夜のように明るい夜のこと。

《奏者のご紹介》

新良幸人 with サンデー



◆新良幸人（あら ゆきと）

石垣島白保出身。エモーショナルな唄と三弦を奏でる八重山の旗手。11歳から八重山民謡を父親（新良幸永）に師事。県立八重山高校在籍中、当時最年少で八重山古典音楽コンクール最高賞を受賞。2003年初のソロアルバム「月虹」（GEKKOU）を全国発売。加藤登紀子、角松敏生、co-ba、夏川りみ等様々なアーティストのレコーディングにも参加。沖縄を代表するミクスチャーバンド、「パーシャククラブ」のメンバーとしても活躍中。

◆サンデー（本名：仲宗根哲（なかそね さとし））

八重山高校時代、幸人に誘われ郷土芸能クラブに参加し島太鼓を始める。1989年から幸人とコンビを組んで本格的なライブ活動に入る。「パーシャククラブ」のメンバーとしても活躍中。

神谷千尋 with 知名勝



◆神谷千尋（かみや ちひろ）

父親は三線の師範で母はその父が奏でる三線で歌う音楽一家に生まれる。伯父であり民謡歌手である神谷幸一の元で本格的に琉球民謡を習い、高校三年生の時に琉球民謡協会コンクールで最高賞を受賞。日頃から感じている気持ちを自然体で表現し語りかけ、遠く通った歌声で描く“楽園的なウチナーズスタイル”は、癒しと笑顔を与えてくれる。

◆知名勝（ちな まさる）

沖縄屈指のデュオとして定評のある「アコースティックM」のギタリスト。感性豊かで個性的なギターのアレンジと演奏で、オリジナル曲やカバー曲を聞かしている。現在、ギタリストまたはアレンジャーとしてのソロ活動や、八重山民謡の覇者、新良幸人率いる「アコースティックパーシャク」のメンバーとしても活動中。

星月夜のコンサート'09

ライトダウンinあさくち
～今夜は月夜に染み入る高嶼ライブ～

■イベントに関するお問い合わせはこちら

岡山天文博物館 岡山県浅口市鴨方町本庄3037-5

TEL.0865-44-2465

<http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>

※会場までは公共交通手段がありません。（駐車場無料、1,000台駐車可能）
※会場内では飲食物の販売はしません。また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
※浅口市は「チーム・マイナス6% -みんなで止めよう温暖化-」に参加しています。
当日もぜひライトダウンにご協力ください。
※本イベントは「あつ晴れ!おかやま国文祭プレイヤーフェスティバル」承認事業です。

